

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

◎学習活動の充実

- (単) **公民館施設環境整備事業 (教育委員会事務局 社会教育課)** (拡充) **44,282千円** (14,419千円)

- 1 事業目的
住民の地域づくりの拠点として、より安全快適な施設環境を作り、市民サービスの向上を図る。
- 2 事業年度
平成24年度
- 3 24年度の事業概要
 - (1) 工事費 13,954千円
神郷公民館駐車場整備工事、金栄公民館トイレ男女別改修工事
 - (2) 土地購入費 21,058千円
神郷公民館駐車場用地購入
 - (3) 委託料 2,700千円
神郷公民館駐車場整備設計、口屋跡記念公民館耐震診断、高木剪定・樹木消毒
 - (4) 備品購入費等 6,570千円
エアコン更新、老朽化による施設修繕、合併浄化槽等汚泥汲取り、外

- (単) **神郷・垣生学習館撤去事業 (教育委員会事務局 社会教育課)** (新規) **8,083千円**

- 1 事業目的
生涯学習センター神郷・垣生学習館は共に昭和49年に神郷公民館、垣生公民館として建設されて以来、中央公民館分館、生涯学習センター学習館として活用されてきたが、老朽化によりその施設の維持管理が困難となったことから、これらの施設を廃止し撤去する。
- 2 事業年度
平成24年度
- 3 24年度の事業概要
 - (1) 工事費 (神郷学習館撤去工事、垣生学習館撤去工事) 8,083千円

- (施) **絵本ライブ開催費 (教育委員会事務局 図書館)** 【75周年記念事業】 **269千円**

- 1 事業目的
来年は、別子銅山記念図書館開館20周年の年にもあたり、「落語絵本シリーズ」で有名な絵本作家川端誠氏を招き、絵本ライブ等を実施する。子どもから大人まで絵本を通じて笑顔を届けることができ、絵本の楽しさ、大切さを認識することにより読書推進を図る。
- 2 事業年度
平成24年度

フィールド5 教育文化
～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

3 24年度の事業内容

「絵本ライブ」の開催

開催予定日 10月

場 所 新居浜市立別子銅山記念図書館 多目的ホール

講 師 川端 誠

1982年にデビュー作の「鳥の島」で第5回絵本にっぽん賞を受賞。
 落語絵本シリーズ、お化けシリーズなど多数の著書がある。

内 容 子どもから大人を対象に自作絵本の開き読み「絵本ライブ」と大人を対象に「講演会」を行う。講演後にサイン会を実施する。

◎地域づくりの推進

(施) **新しい公共支援事業費 (教育委員会事務局 社会教育課)** (新規)

1,400千円

1 事業目的

別子山の現状を克服し住民の情熱で地域を元気にする。特に、交流人口の拡大、別子山応援団の結成を目指し、より多くの住民が関与する事業を企画立案実践することで成功体験を重ね、10年、20年先もこのまちで暮らす幸せを実感できるよう地域力を高める。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

(1) 委託料 1,400千円

“春夏秋冬”季節を体感する絆まつり、“みんなが主役”第二のふるさと別子山探検ツアー、別子山の宝探しマップ、地域の将来をみんなで考える“熟議セミナー”の開催

4 財源内訳

(1) 県 (10/10) 1,400千円

(施) **地域主導型公民館推進費 (教育委員会事務局 社会教育課)**

12,900千円 (47,631千円)

1 事業目的

より多くの住民が公民館活動に参加し、住民主体で企画運営できる公民館を目指す。また、これまでの公民館の制度についても検討し、地域主導型公民館にとって最適の体制を構築する。

2 事業年度

平成20年度～

3 24年度の事業内容

(1) 地域教育力向上プロジェクト事業 12,600千円

(@700,000円×18事業)

(2) 多喜浜塩田のまち推進学習 300千円

◎家庭、地域の教育力の向上

(施) **社会教育充実費 (教育委員会事務局 社会教育課)**

7,500千円 (3,100千円)

1 事業目的

世代間、地域間交流の機会の提供、安心安全な活動の場の確保、さまざまな体験等を通じ、家庭、学校、地域の連携を強化し、地域社会の教育力の向上を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

- | | |
|--|---------|
| (1) 放課後子ども教室推進事業 | 2,700千円 |
| ・放課後等に子どもたちの安全な居場所づくりをし、体験活動を行う。
(@300,000×9教室) | |
| (2) 学校支援地域本部推進事業 | 3,600千円 |
| ・学校と地域との連携体制を強化し、学校を支援する。
(@300,000×12校区) | |
| (3) 多喜浜塩のまちづくり事業 | 200千円 |
| ・流下式ミニ塩田“ソルティ多喜浜”の維持管理及び塩づくり体験事業、多喜浜塩田遺跡巡り等を実施する。 | |
| (4) 空から見る新居浜・市制75周年記念事業 | 1,000千円 |
| ・ヘリコプターによる空中散歩(遊覧飛行)、謎解きスタンプラリー、タイムカプセルなどを実施する。 | |

4 財源内訳

- | | |
|------------|---------|
| (1) 県(2/3) | 4,200千円 |
| (2) 一財 | 3,300千円 |

◎学校教育の充実

(単) **小・中学校施設環境整備事業 (教育委員会事務局 学校教育課)**

128,986千円 (92,767千円)

1 事業目的

小・中学校の施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、児童・生徒が安全で快適な教育を受けることができる環境をつくる。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

- | | |
|----------------------|----------|
| (1) 工事費 | 81,106千円 |
| ①特別教室扇風機設置工事 | |
| ②浮島小・船木小下水道接続工事 | |
| ③宮西小南棟・若宮小校舎屋上防水改修工事 | |
| ④大生院小体育館屋根塗装工事 | |
| ⑤中萩中下水道接続工事 | |
| ⑥中学校体育館床改修工事 | |

フィールド5 教育文化
～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

- (2) 施設修繕料 27,460千円
 ・老朽化による学校施設・設備等の修繕
- (3) 委託料等 8,875千円
 - ①屋内運動場屋根点検及び清掃
 - ②高木剪定・樹木消毒
 - ③北中運動場排水整備設計
- (4) 備品購入費等 11,545千円
 ・大生院小電話機更新、真砂土購入、机・椅子・消火器購入、排水路浚渫、外

(単) **幼稚園施設環境整備事業 (教育委員会事務局 学校教育課) (拡充)**
12,591千円 (1,300千円)

- 1 **事業目的**
 幼稚園の施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、園児が安全で快適な教育を受け
 ることができる環境をつくる。
- 2 **事業年度**
 平成24年度
- 3 **24年度の事業内容**
 - (1) 工事費 9,381千円
 ・神郷幼稚園園舎屋上防水改修工事
 - (2) 委託料 2,210千円
 ・神郷幼稚園園舎耐震補強設計、高木剪定・樹木消毒、遊具保守点検、外
 - (3) 施設修繕料 1,000千円
 ・老朽化による幼稚園施設・設備等の修繕

(施) **小学校ハートなんでも相談員設置事業費 (教育委員会事務局 学校教育課) (拡充)**
2,240千円 (1,960千円)

- 1 **事業目的**
 小学校に「ハートなんでも相談員」を配置し、児童、保護者、教員等の日頃の悩みの相
 談に気軽に応じ、心にゆとりの持てる環境づくりを推進し、問題行動、不登校等の未然防
 止並びに早期発見及び解決に資する。
- 2 **事業年度**
 平成24年度
- 3 **24年度の事業内容**
 - (1) 報償費 相談員謝金 (配置校10校) 2,240千円
- 4 **財源内訳**
 - (1) 県 (1/2) 560千円
 - (2) 一財 1,680千円

◎特別支援教育の充実

(施) 発達支援教育充実費 (教育委員会事務局 発達支援課)

19,633千円 (19,155千円)

1 事業目的

巡回相談による早期発見、その後の療育専門家による発達検査、個別療育指導、早期療育通園事業、理学療法士や心理相談員による就学相談の強化を図り、障がいや発達課題のある子どもたちが、家庭や地域の人たちと一緒に、より豊かに、自尊心をもって、自立した生活ができることを目指し、幼稚園、保育園、小学校、中学校、高等学校と連携を強化しながら、幼児期、学齢期における早期発見、早期療育支援体制の整備充実と研修等による地域理解の促進と人材育成を進める。

2 事業年度

平成21年度～

3 事業概要

- (1) 発達支援教育研修事業 902千円
・職員研修、保育士や教職員を対象にスキルアップ・特別支援教育研修講座、自閉症児の贈りもの「星の国から孫ふたり」映画上映会
- (2) 発達支援相談事業 2,762千円
巡回相談、発達検査、就学相談等
- (3) 地域療育推進事業 15,969千円
早期療育通園事業(育ちの教室、ことばの教室、外)、ソーシャルスキル支援事業

4 24年度の事業内容

- (1) 報酬等 14,083千円
早期療育指導員報酬(6人)等
- (2) 報償費 2,870千円
相談事業(巡回相談、発達検査、就学相談)謝金等
- (3) 旅費等 1,141千円
研修会講師旅費、発達障害早期総合支援研修旅費等
- (4) 委託料 520千円
早期療育指導委託料、ソーシャルスキル支援事業委託料
- (5) 消耗品・保険料等 1,019千円

◎芸術文化の振興

(施) 歌劇「天空の町」開催費 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) 【75周年記念事業】

3,000千円

1 事業目的

歌劇を通して、110年以上前に公害で荒廃した別子の山に植林し、「別子の山々を青々とした緑の大自然にもどそう」と尽力した別子銅山二代目総理事伊庭貞剛を顕彰し、その精神を広く発信する。

フィールド5 教育文化 ～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

歌劇「天空の町」の開催

開催日 平成24年5月26日（土）18：30開演

平成24年5月27日（日）14：00開演

場 所 新居浜市市民文化センター 大ホール

入場料 前売券 3,000円

当日券 3,500円

全席自由

主 催 歌劇「天空の町」実行委員会

(施) 近藤勝也展開催費 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) 【75周年記念事業】

9,250千円

1 事業目的

新居浜市出身で、現在当市の観光大使に任命され、スタジオジブリで「魔女の宅急便」「崖の上のポニョ」や最近公開された「コクリコ坂から」などの作画監督やキャラクターデザインを担当する実力派アニメーター近藤勝也氏の作品展を開催する。

スタジオジブリで手掛けてきた「原画」等に、将来を夢見て描き続けた創成期の作品等も交えて展示し、これまで歩んできた道のりを紹介する。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

「近藤勝也展」の開催

会 期 平成24年7月20日（金）～8月26日（日）

会 場 新居浜市立郷土美術館 1階第5・6展示室

展示構成 原画・レイアウト（近藤勝也氏担当分）、背景画・セル画・絵コンテ・タイムシート（一連のカット）、幼少期～学生時代の作品等（予定）

観覧料 一般（高校生以上）500円 前売 400円

中学生以下 無料

企画制作協力 スタジオジブリ

特別企画展関連イベント

・ワークショップ「アニメーションをつくってみよう！」（仮称）

日 時 8月上旬の日曜日

講 師 近藤勝也

対象者 小・中・高生約30名（予定）

4 財源内訳

(1) 諸収入 2,600千円（入場料、外）

(2) 一財 6,650千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(単) 文化施設環境整備事業 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) (拡充)

39,425千円 (21,452千円)

1 事業目的

文化施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、利用者が安全で快適に利用することができる環境をつくる。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業概要

(1) 工事費 4,728千円

市民文化センター中ホールロビー天井雨漏り修繕工事、大・中ホール舞台吊物設備改修工事

(3) 委託料 18,600千円

市民文化センター(本館・別館)耐震診断

(4) 器具借上料 16,097千円

市民文化センター大ホール調光設備年間リース、調光負荷設備年間リース

(施) 親子コンサート開催費 (教育委員会事務局 スポーツ文化課) 【75周年記念事業】

2,362千円

1 事業目的

笑顔輝くまちづくりのため、次代を担う子どもたちに文化ホールで生の演奏に触れ、音楽の楽しさを体験してもらうとともに、親子で過ごす楽しい時間と空間を提供する。特に、通常のコンサートには入場できない未就学児とその保護者に気兼ねなく本物の音楽を楽しんでもらう。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

「音楽の絵本コンサート」の開催

開催予定日 平成25年2月23日(土)

場 所 新居浜市市民文化センター 大ホール

入場料(予定) 前売券 大人 2,000円

小人 500円

0歳から入場可

出演者 「音楽の絵本」 ズーラシアンブラス 7名

弦うさぎ 4名

司会 1名

4 財源内訳

(1) 諸収入 1,000千円(入場料)

(2) 一財 1,362千円

フィールド5 教育文化
～市民の力が育まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) **総合文化施設建設推進費（企画部 総合文化施設準備室）** **2,848千円** (2,395千円)

1 事業目的

総合文化施設の建設と並行して、事業計画や今後の館の運営計画を検討していくのにあたり、平成22年度に依頼したアドバイザーの招聘を行うとともに、美術品の収集計画等を策定するため、収集・評価委員会を開催する。

2 事業年度

平成23年度～

3 事業の概要

総合アドバイザー 鴻上尚史、スーパーアドバイザー 高見知佳、松久勝利、テクニカルアドバイザー 市橋宏、曾我部清典、吉田広ほか 計12名の招聘に要する経費
 収集評価委員会開催に要する経費（委員5名、3回程度開催）

- ・寺坂公雄記念室の設置
- ・新居浜ゆかりの美術の収集方針確立

(公) **総合文化施設建設事業（企画部 総合文化施設準備室）（新市建設計画）** **2,699,131千円** (194,600千円)

1 事業目的

新居浜駅周辺地区整備計画において、核施設となる総合文化施設を建設する。

2 事業年度

平成22年度～

3 事業の概要

合併特例債の発行期限である平成25年度末までの施設の完成を目指し、平成24年度、25年度の2か年で施設建設を行う。

4 24年度の事業内容

美術館・小劇場・太鼓台ミュージアム・産業遺産インフォメーションの機能を有する複合施設「新居浜市総合文化施設」を新居浜駅前地区のにぎわいづくりの核施設として建設する。

継続費総額 3,900,000千円
 24年度 989,000千円
 25年度 2,911,000千円

【24年度予算内訳】

工事費 975,000千円
 事務費 14,000千円
 用地費 1,710,131千円

5 財源内訳

- (1) 国 40% 737,160千円（社会資本整備総合交付金）
- (2) 市債 95% 1,063,700千円（合併特例債）[交付税算入率70%]
- (3) その他（繰入金） 842,231千円（文化振興基金繰入金）
- (4) 一財 56,040千円

フィールド5 教育文化

～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

(施) 笑顔輝くプロジェクト推進費 (企画部 総合政策課)

4,307千円 (2,857千円)

1 事業目的

次代を担う全国の高校生に、笑いを引き出す経験を通して、世代を超えたコミュニケーション能力や豊かな人間関係を築く力を身につけてもらうとともに、地域に人を結ぶ「笑い」と「元気」を生み出し、新居浜市が目指す「笑顔輝くまちづくり」の推進と全国に向けた本市都市像の発信を目的とし、第2回高校生笑い日本一決定戦 『笑顔甲子園“絆” in 新居浜』を開催する。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

全国の高校生（3名以内のグループまたは個人）を対象としたお笑いパフォーマンスコンテスト（漫才、コント、落語など）を開催する。

DVDによる予備審査を経て、上位10グループ程度による本選を実施する。

4 24年度の事業内容

本選 <世代別バトル>

開催日 平成24年8月25日（土）

場所 銅夢にいほま

<決勝バトル>

開催日 平成24年8月26日（日）

場所 新居浜市市民文化センター大ホール

表彰 グランプリ、準グランプリ、審査員特別賞に賞状とトロフィー等、また本選出場者に参加賞

5 財源内訳

(1) その他（諸収入） 1,000千円（市町振興協会助成金）

(2) 一財 3,307千円

◎スポーツの振興と競技力の向上

(施) スポーツ推進計画策定事業費 (教育委員会 スポーツ文化課) (新規)

2,000千円

1 事業目的

近年、ライフスタイルの変化や高齢社会の進展等、社会環境が変化し、スポーツの果たす役割・意義がますます重要になっている中、国・県はスポーツ基本法に基づき「スポーツ振興基本計画」、「愛媛県スポーツ振興計画」を策定している。本市も、生涯にわたって誰もが気軽にスポーツに親しむことができ、心身ともに健康で生き生きとした生活が送れる「生涯スポーツ社会」の実現を図るため、スポーツ推進計画を策定する。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業内容

(1) 委託料 2,000千円

アンケート調査表の設計・印刷、調査表発送・集計・分析、外

フィールド5 教育文化 ～市民の力が生まれ、次世代へ継承される社会の実現～

- (単) **体育施設環境整備事業（教育委員会事務局 スポーツ文化課）（拡充）**
28,798千円 (9,077千円)

1 事業目的

体育施設・設備の適正な保守及び維持管理を図り、利用者が安全で快適に使用することができる環境をつくる。

2 事業年度

平成24年度

3 24年度の事業概要

- (1) 工事費 13,748千円
山根温水プールシェルター等改修工事、体育館フロア研磨及びライン引き工事
- (3) 委託料 8,550千円
八間滝周辺登山道整備、市民体育館耐震診断
- (4) 備品購入費 6,500千円
市民プールコインロッカー、テント、市民体育館フロアシート、
体育施設備品一式

◎近代化産業遺産の保存・活用の充実

- (施) **近代化産業遺産まちづくり推進費（企画部 別子銅山文化遺産課）**
5,694千円 (13,206千円)

1 事業目的

今も市内に数多く残る別子銅山近代化産業遺産をまちづくりに活かすことを目的に、それら貴重な産業遺産の価値を多くの人に認識してもらうため情報発信を行うとともに近代化産業遺産の保存活用を図る。

2 事業年度

平成24年度

3 事業概要

別子銅山産業遺産を後世に継承するとともに、情報発信を行い、近代化産業遺産まちづくりを推進する。

4 24年度の事業内容

- ◆近代化産業遺産情報発信事業 1,533千円
- (1) 別子銅山エッセイ募集 1,415千円
平成23年度から引き続いて平成24年7月2日まで別子銅山に関するエッセイの募集を行い、その後審査を経て、10月に優秀作品の発表を行う。
- (2) あかがね基金広報用チラシ、ポスター作成等 118千円
- ◆近代化産業遺産保存活用事業 4,161千円
- (1) 旧端出場水力発電所調査報告書作成 1,743千円
平成23年度に調査を実施した旧端出場水力発電所本館、機器類及び導水施設について、調査報告書を作成する。
- (2) 山田社宅、旧端出場水力発電所管理業務等 2,418千円